



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年 2月14日

上場会社名 株式会社SRAホールディングス (コード番号: 3817 東証第一部)

(URL <http://www.sra-hd.co.jp/>)

代表者役職名 代表取締役社長

氏名 鹿島 亨

問合せ先責任者役職名 管理本部財務部長

氏名 小川 浩 TEL: (03)5979-2666

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
19年3月期第3四半期	百万円 25,349	百万円 1,648	百万円 1,683	百万円 1,454
18年3月期第3四半期				
(参考) 18年3月期				

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
19年3月期第3四半期	円 105 銭 13	円 104 銭 91
18年3月期第3四半期		
(参考) 18年3月期		

(注) 連結財務諸表の作成初年度により前年同四半期及び前連結会計年度末については記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

前年同期比は、株式会社SRAの平成18年3月期第3四半期連結業績との比較

当第3四半期におけるわが国経済は、個人消費の伸びに鈍化がみられたものの、企業収益の改善や設備投資の増加が継続し、景気は回復基調で推移いたしました。

情報サービス業界におきましては、金融機関を中心とした企業の旺盛な投資意欲に支えられ、IT投資は拡大基調で推移ましたが、競争激化等により受注環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような企業環境のもと、当社グループのセグメント別の受注・売上状況につきましては、「システム開発事業」は金融機関、流通業及び製造業向けの受注増加等により総じて堅調に推移し、「ネットワーク・システムサービス事業」では学校関連の受注は横ばいだったものの、企業向けの受注が増加したことで全体的には堅調な受注状況となりました。また、「コンサル・サービス事業」は、機器販売の増加等により前年同期を上回る状況となりました。

一方、グループ会社別の経営状況につきましては、中核事業会社である株式会社SRAでは、受注は堅調に推移し、生産面では適正なプロジェクトの運営管理の実践により不採算の発生防止に努めました。さらに、引き続き販管費の抑制に取り組みました。また、他のグループ会社も総じて計画どおりの業績を収めることができました。

これらの結果、当第3四半期の連結業績は、売上高が253億49百万円（前年同期比10.6%増）となりました。損益面におきましては、経常利益は売上増に伴う粗利益の増加に加え、販管費の抑制に継続的に取り組んだ結果、16億83百万円（前年同期比275.4%増）となりました。また、四半期純利益は、横浜の技術センター売却に伴う固定資産売却益986百万円等を計上した結果、14億54百万円（前年同期比762.0%増）となりました。

	売上高	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円
平成19年3月期第3四半期連結実績	25,349	1,683	1,454
平成18年3月期第3四半期連結実績(注)	22,917	448	168
対前年同期増減額 (対前年同期比)	2,431 (10.6%増)	1,235 (275.4%増)	1,286 (762.0%増)

(注)平成18年3月期第3四半期連結実績は株式会社SRAの実績

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
19年3月期第3四半期	22,918	10,994	47.9	793 18
18年3月期第3四半期				
(参考)18年3月期				

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	723	1,892	0	8,240
18年3月期第3四半期				
(参考)18年3月期				

(注)連結財務諸表の作成初年度により前年同四半期及び前連結会計年度末については記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

比較は、株式会社SRAの平成18年3月期第3四半期連結及び前連結会計年度末との比較

連結貸借対照表

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億65百万円増加して229億18百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が16億23百万円増加の76億26百万円、たな卸資産が13億57百万円増加の21億24百万円となる一方、受取手形及び売掛金が11億9百万円減少の63億41百万円となり、合計は前連結会計年度末比32億78百万円増加の183億33百万円となりました。

固定資産は、土地が10億1百万円減少の0百万円、投資有価証券が2億22百万円減少の17億88百万円、繰延税金資産が5億59百万円減少の10億3百万円となり、合計は前連結会計年度末比20億13百万円減少の45億85百万円となりました。

流動負債は、買掛金が5億96百万円増加の31億46百万円、短期借入金が1億70百万円増加の26億54百万円となる一方、未払法人税等が5億55百万円減少の1億72百万円、賞与引当金が3億4百万円減少の3億71百万円となり、合計は前連結会計年度末比48百万円増加の80億58百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が1億69百万円増加したこと等から、合計は前連結会計年度末比2億15百万円増加の38億65百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー

営業活動により増加した資金は、7億23百万円（前年同期比17億94百万円増）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益26億8百万円、売上債権の減少11億22百万円等による資金の増加が、たな卸資産の増加13億56百万円、法人税等の支払い10億36百万円等による資金の減少を上回ったことによるものです。

投資活動により増加した資金は、18億92百万円（前年同期比22億55百万円増）となりました。

これは、有形固定資産の売却による収入21億80百万円が主な要因です。

財務活動により減少した資金は、0百万円（前年同期比27百万円減）となりました。

これは、配当金の支払1億72百万円等による資金の減少が、短期借入金の純増額1億54百万円等による資金の増加を上回ったことによるものです。

これらの結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ26億22百万円増加して、82億40百万円となりました。

添付資料

要約四半期連結貸借対照表、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年10月25日)	37,000 百万円	2,500 百万円	2,040 百万円
今回予想(B)	37,000	2,700	2,150
増減額(B-A)	0	200	110
増減率	-	8.0%	5.4%

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）155円35銭

[業績予想に関する定性的情報等]

1. 売上高：前回予想どおり

2. 経常利益：販管費の総額が前回想定した金額を下回る見込みとなったため、前回予想の25億円を27億円（前回予想比8.0%増）に上方修正

<<販管費の低減理由>>

投資を除く販管費は計画どおり抑制できる見込みとなった

投資計画について

- 実施した事業投資で投資額を圧縮した
- グループ全体の経営インフラを整備する投資が一部翌期にずれ込む見込みとなった

3. 当期純利益：経常利益の増加に伴う上方修正

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

[添付資料]

(四半期連結財務諸表の作成方法について)

当社の当第3四半期の連結財務諸表は、株式会社SRAが、株式会社SRAホールディングスを逆取得したものとして、株式会社SRAの第3四半期の連結財務諸表（平成18年4月1日から平成18年12月31日まで）に当社の株式交換後から当第3四半期末まで（平成18年9月30日から平成18年12月31日まで）の財務諸表を連結したものであります。

1. 要約四半期連結貸借対照表

科 目	(単位:百万円)	
	当四半期 〔平成19年3月期 第3四半期末〕	
	金 額	比 率
(資 産 の 部)		%
流 動 資 産		
現 金 及 び 預 金	7,626	
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	6,341	
有 価 証 券	999	
た な 卸 資 産	2,124	
繰 延 税 金 資 産	413	
そ の 他	839	
貸 倒 引 当 金	11	
流 動 資 産 合 計	18,333	80.0
固 定 資 産		
有 形 固 定 資 産		
建 物 及 び 構 築 物	96	
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	104	
土 地	0	
そ の 他	35	
有 形 固 定 資 産 合 計	237	1.0
無 形 固 定 資 産		
ソ フ ト ウ エ ア	674	
そ の 他	31	
無 形 固 定 資 産 合 計	705	3.1
投 資 そ の 他 の 資 産		
投 資 有 価 証 券	1,788	
繰 延 税 金 資 産	1,003	
差 入 保 証 金	553	
そ の 他	351	
貸 倒 引 当 金	5	
投 資 損 失 引 当 金	49	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	3,642	15.9
固 定 資 産 合 計	4,585	20.0
資 産 合 計	22,918	100.0

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	当四半期 〔 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末 〕	
	金 額	比 率
(負 債 の 部)		%
流 動 負 債		
買 掛 金	3,146	
短 期 借 入 金	2,654	
未 払 法 人 税 等	172	
未 払 消 費 税 等	244	
未 払 費 用	831	
賞 与 引 当 金	371	
役 員 賞 与 引 当 金	31	
そ の 他	606	
流 動 負 債 合 計	8,058	35.1
固 定 負 債		
社 債	300	
長 期 借 入 金	42	
退 職 給 付 引 当 金	3,127	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	368	
負 の の れ ん	26	
固 定 負 債 合 計	3,865	16.9
負 債 合 計	11,923	52.0
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本		
資 本 金	1,000	4.4
資 本 剰 余 金	4,519	19.7
利 益 剰 余 金	5,590	24.4
自 己 株 式	894	3.9
株 主 資 本 合 計	10,215	44.6
評 価 ・ 換 算 差 額 等		
その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	731	3.2
為 替 換 算 調 整 勘 定	30	0.1
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	762	3.3
新 株 予 約 権	6	0.0
少 数 株 主 持 分	11	0.1
純 資 産 合 計	10,994	48.0
負 債 純 資 産 合 計	22,918	100.0

2. 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	
	当四半期 〔 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期 〕	
	金 額	比 率
		%
売 上 高	25,349	100.0
売 上 原 價	20,460	80.7
売 上 総 利 益	4,888	19.3
販売費及び一般管理費	3,239	12.8
営 業 利 益	1,648	6.5
営 業 外 収 益	105	0.4
受 取 利 息	10	
受 取 配 当 金	6	
そ の 他	88	
営 業 外 費 用	70	0.3
支 払 利 息	29	
そ の 他	40	
経 常 利 益	1,683	6.6
特 別 利 益	989	3.9
固 定 資 産 売 却 益	986	
そ の 他	3	
特 別 損 失	65	0.3
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	2,608	10.2
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	483	1.9
法 人 税 等 調 整 額	638	2.5
少 数 株 主 利 益	31	0.1
四 半 期 純 利 益	1,454	5.7

3. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位:百万円)	
	期 別	当四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期
	金 額	
. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,608	
減価償却費	216	
固定資産売却益	956	
退職給付引当金の増加額	169	
役員退職慰労引当金額の増加額	6	
売上債権の減少額	1,122	
たな卸資産の増加額	1,356	
仕入債務の増加額	582	
未払消費税の減少額	88	
その他	529	
小 計	1,775	
利息及び配当金の受取額	14	
利息の支払額	30	
法人税等の支払額	1,036	
営業活動によるキャッシュ・フロー	723	
. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形・無形固定資産の取得による支出	159	
有形・無形固定資産の売却による収入	2,180	
投資有価証券の取得による支出	16	
投資有価証券の売却による収入	45	
連結子会社株式の追加取得による支出	112	
親会社との株式交換による収入	2	
保証金に係る支出	9	
保証金の回収による収入	8	
その他	45	
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,892	
. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	154	
長期借入れによる収入	50	
長期借入金の返済による支出	21	
その他	183	
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	
. 現金及び現金同等物に係る換算差額	7	
. 現金及び現金同等物の増減額	2,622	
. 現金及び現金同等物の期首残高	5,617	
. 現金及び現金同等物の四半期末残高	8,240	

4. セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	システム開発	ネットワーク・ システムサービス	コンサル・ サービス	計	消去又 は全社	連結
売上高	14,514	3,373	8,314	26,202	(853)	25,349
営業費用	12,495	2,762	7,547	22,805	895	23,700
営業利益	2,019	611	767	3,397	(1,749)	1,648

(注) 当四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は1,434百万円で
あり、その主なものは研究開発費及び当社の管理部門に係る費用であります。

(2) 所在地別セグメント情報

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記
載を省略しております。

(3) 海外売上高

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため記載を省略しております。